

フラッシュの活動風景

さまざまな場所で演奏しています!



基本的にはジャズバンドですが、歌謡曲などなんでもできます。200曲くらいレパートリーがあります。譜面はピアノ担当の人が作成し、自分たちなりにアレンジして演奏します。ボーカルがない演奏のみのバンドなのでバックバンドとしても活動でき、イベントには声がかかることもあるそうです。

練習場所は特にないので、それぞれ楽譜をみて覚え、本番前に2、3回合わせます。

練習場所に楽器を置いたままにできればいいけど、移動のたびに運んで設置しなければならぬので、それが一番大変だと話していました。



フラッシュ

結成して20年以上になるバンドです。リーダーの九嶋さんに話を聞きました。メンバーは8人で、担当はキーボード、トランペット2人、ドラム、ベース、ギター、ピアノ、パーカッションです。



九嶋さん

▼能代に

ライブハウスがあれば!

今、能代にはジャズのライブハウスもジャズ喫茶ありません。九嶋さんや仲間たちはライブハウスがぜひ欲しいとのこと。ファンもきつと同じ気持ちなのではないでしょうか?

昭和54年頃には、能代にも演奏する場所があつて、バンドのメンバーが外で順番待ちしている光景も見られたそうです。

演奏する場がたくさんあれば、もっとバンド活動が活発になるのではと話していました。

取材を終えて

初めて近くで生の演奏を聴いて驚いたことは、楽譜がないことでした。一人ひとりの個性がぶつかって一つの音楽ができます。楽しさ、喜びを感じる事ができました。

自由に楽器を奏でることができ、うらやましく思いました。

社会人になって仕事を持った人たちが、共通の趣味である音楽を通じて交流し、演奏する。それで仕事のストレスを解消し、息抜きもでき、何より楽しいということが、続けてこられた理由のように思います。

仕事仲間とは別に、バンド仲間には何か特別なつながりがあるのではと感じました。